

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3 年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスひだまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		定期的に、レイアウトを変更し、成長により導線を変えるなど行っている。	コロナ禍によるソーシャルディスタンスや、手洗い消毒の導線なども加味して、レイアウトを変えていく。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			より手厚い支援として、指導員をあと 1名増やす。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		つまずきなど起こる場合は、その箇所の対応を随時行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎月、第3木曜日に環境整備を行っている。	職員からの意見などを積極的に取り入れて、常に PDCAを回していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		年2回保護者様にアンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		ホームページでは公開しているが、開放では周知させていないので、翌月のニュースレターで通知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者を、お願いしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		月に4回社員の質の向上の為研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		スタッフ全員が関わり決定している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			以前はアセスメントツールを使用していたが、使用せずにアセスメントをしていた為アセスメントツールを使用する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			月に1回スタッフ同士で話し合い実行している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		日々プログラムが固定されない様に話し合いの場を持ち変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			課題を行っているが平日と休日と長期休暇と分けていない為夏休みに向けての課題をもっときめ細やかに設定
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		子供の状況に合わせて個別活動、集団活動適時合わせて計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼時や出勤後に職員間で確認をしている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼時に本日の支援の振り返りをしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		<input type="radio"/>		正しく記録をとっていない為必ず正しく記録をとって置く。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		保護者様に定期的にモニタリングを取りデイサービス計画の見直しをしている。また変更もしている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿って支援をしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児童発達管理責任者が必ず参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		何かがあった場合には必ず学校と情報共有をしている。又年間行事などの計画書などは常に学校と密に連携している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		連絡体制が取れる様に常に電話番号、所在地を把握している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			全部とは情報共有をしていない為必ず情報共有する様に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		提供を依頼された時のみしか提供できていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		オンラインなどで研修有れば、受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		コロナ禍により活動なし。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>		コロナ禍により活動なし。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		対面、電話、LINEにて常に理解を促している。保護者様からの要望なども積極的に受け付けて理解を深めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>		細かく詰めていないが、保護者様のフォローは随時行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に口頭、契約書を見ながら周知。	質問が有れば随時対応していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		送迎時などの会話、LINEにて随時行い、管理者と取り組んでいる。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在はコロナ禍の為行わない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	受けた職員が速やかに上長に報告、電話、訪問などでその日のうちに対応。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	毎月ニュースレター発行。	
	35	個人情報に十分注意している		○	鍵付き書庫にて管理。さらに専用の靴にて保管。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	保護者様にLINEを利用いただき、情報のスピードや、より良い情報を得ることができているし、与えることができている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在はコロナ禍のため行わない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	毎月研修会あり。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	避難訓練 2月、8月。夏は地域柄、水害を想定して行っている。	ニュースレターなどで報告を行うと良い。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	毎月、職員に虐待防止のアンケートを聴取。回答により管理者が、面談を上長に報告。対策をスピードで行う。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	止むを得ずの場合は、スタッフ内で会議をし、保護者様にご理解いただいている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示書が必要な場合は、それに従う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	全員が周知できるソールを使用し、タイムリーに対応している。	